

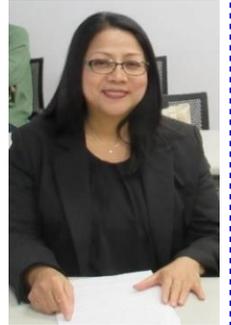
たげんご いぬやま多言語 News

はっこう へんしゅう いぬやまこくさいこうりゅうきょうかい
発行・編集：犬山国際交流協会
はっこうび
発行日：2024.10.15
にほんごばん
やさしい日本語版 (No. 9)

おや すがた こ はげ 親の姿が 子どもの励み

カワサキマリアさん (フィリピン出身。現在は、仕事をしながら、大学生の娘さんと暮らしています。)

娘が来日したのは、2009年の10月、小学校1年生の2学期でした。娘が日本に来たら、フルタイムの仕事をやめてアルバイトを三つ掛け持ちしました。娘を見送ってから家を出て、娘が帰ってくる時間に自分も家に帰れるようにしました。それから、娘の日本語の語彙を増やすために、本屋さんで買ったカードを使って頑張って練習しました。そして、言葉が分からなくても、地域の子ども会に参加をさせました。自分と同じ年ごろの子と一緒に過ごす時間は、日本語を覚えるための大切な時間と思いました。言葉を少しでも早く覚えるようにとしか頭にはなかつたです。勉強はすぐについていけないのかもしれないけど、自分の気持ちを言えるようになってほしかったです。楽しく学校に通えるようになってほしかったです。やっと「日本は楽しい」と言ってくれた日が来て、お母さんの私は「やった！」と思いました。



娘が日本語をできるだけ早く覚えるように、NHKの朝の番組をみせました。ディズニーチャンネルはフィリピンにいたときも好きだったので、契約をして日本語と英語で見られるようにしました。日本語の言葉の意味が分からない時にいつでも自分に聞くように伝えました。自分も答えが分からない時には、二人でインターネットを利用して一緒に調べたりしました。漢字ドリルも一緒に、娘だけじゃなくて私も勉強しました。2年生の2学期になって、九九が始まりました。日本語がまだ難しいのに、九九なんて！と思いましたが、クリスマスまでに九九に合格したらディズニーランドに連れていく約束をしました。おかげ様で、クリスマスイブはTokyo Disneylandで過ごすことができました。

～これから日本で子どもを育てていくみなさんへ伝えたいこと～

◆自分の子どもを信じてあげましょう！そうすることで、子どもの自尊心は高まります。日本にいて、文化や習慣の違いが多い中で頑張っている子どもたちの味方は私たち保護者しかいません。大変ですが、勇気をもって子どものために強くやりましょう。

◆子どもの言いたいこと、訴えたいことを聞いて、学校の後の様子、生活や性格の変化をしっかりとわかるようにしましょう。子どもたちは、親に遠慮しがちなので、困っていても言わない時が多いです。多くの方が上目線から勉強するようにといますが、自分の子には何が必要か見極める力が必要です。例えば、算数できないことについて「勉強しないから」と責めるのではなくて、保護者としてどんな支援ができるかを考えることが一番だと思います。

◆同じ保護者、同じ国の人や日本人を問わずに相談してください。わからないことがあったら、どんどん聞いてもいいです。自分自身も周りの方々からたくさんの情報を得て、支援をいただいたおかげでここまで来ることができました。わからないのに何もしないと、子どものためにはなりません。

◆日本に来た限り、日本語を覚えなければなりません。言葉を覚えることで、子どものサポートもできるし、親子の間でたくさん話もできます。家族の関係が良好で初めて日本での生活は楽しく感じると思っています。そして、日本語ができると就職活動にも有利になります。今、仕事されていない方は、ハローワークで日本語の職業訓練について相談してください。無料で日本語の勉強できるチャンスがあります。ハローワークでの色々な職業訓練で、無料で勉強できることと給付金や資格も得られます。みなさんの身近にある、犬山国際交流協会にも日本語を学べる教室があるので、気軽に相談してください。

◆これからずっと日本にいるつもりであれば、日本の教育制度、行政制度、困ったときにどちらに行けば良いか、誰に聞けば良いかの繋がり、いわゆるコネクションを築くと、必要になった場合に救われます。身近にあるのは、学校です。日本の学校は、できるだけのことをしてくれるので、相談してください。その他には、犬山国際交流協会と市役所。犬山市には、コミュニティ通訳の制度もあるので、気軽に相談してください。

子どもたちの良い将来のために、私たち保護者も、言葉を覚えることを頑張りましょう。大人になってから言葉を覚えるのは、恥ずかしいことではありません。一生懸命勉強している保護者の姿が、子どもたちにとって1番の励みになると思います。

地震に備えよう

8月に九州の宮崎県で地震が発生してからの一週間、「南海トラフ地震臨時情報の注意呼びかけ」が行われました。注意の呼びかけ期間は終わりましたが、引き続き、地震に対する備えを確認しておきましょう。

◆家具を固定する



◆ペットボトルの水、非常食などの備蓄



◆避難場所の確認



◆パスポート、在留カード等をすぐに持ち出せるようにしておく



「Safety Tips」 <災害時の便利な情報提供アプリ>

- 対応言語：日本語、英語、中国語（簡体字/繁体字）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、タガログ語、ネパール語、クメール語、ビルマ語、モンゴル語
- アプリ利用料：無料
- プッシュ通知される情報：緊急地震速報、津波警報、気象警報、噴火速報、台風情報、熱中症情報、国民保護情報、避難情報

Android:



iPhone:



犬山の伝統行事である「石上げ祭」に参加しました

新鮮な空気、緑の自然により、幸せな気持ちになりました。

ちになりました。体が元気になりました。

リフキ マコンドさん(インドネシア)



今年では会社の同僚がほとんど全員参加し、とても楽しかったです。

イマム サビイさん(インドネシア)



石上げ祭は毎年8月の第1日曜日に行われます

体験をしながら、交流しあえる場所があります。日本語はすこしでも大丈夫です。

祭、文化などを一緒に体験しながら、交流しています。職場や家族以外の人との新しい出会いがあります。



2024.03.03 多文化交流カフェ



2024.06.08 交流会

いろいろなイベントは、こちらで案内しています。

ホームページ



Facebook



X



いぬやまこくさいりゆうきょうかい ざいじゆうがいこくじん にほんじんかてい ほうちん にほん じっせいかつ ふ なか たが こくりゅう
犬山国際交流協会 (IIA) は、在住外国人が日本人家庭を訪問し、日本の美生活に触れる中で、お互いの交流
 を深める「ホームビジット」を開催しました。カンボジアとベトナムの留学生を受け入れた、ホストファミリーの小島春美さんにお話を聞きました。

ホームビジットを引き受けて、今年で3回目になります。これまで、ベトナム、モンゴル、カンボジアの方を受入れました。今年は、留学生のカンボジアのオンさんと日本で働いているベトナムのズインさんです。ホームビジット当日は暑い日でしたが、町内の夏祭りの日で、3人で自宅前の神社に参拝しました。入り口で手と口を清め、神殿前で賽銭を投げてお参りしました。馬の張子を引く、元気な子ども神輿を2人に見てもらいました。笛と太鼓で練り歩く姿に、2人は母国のお祭りを思い出したようでした。私もいつか、彼女たちの国へ行ってみたいです。

その後、3人で稲荷ずしを作り、茶わん蒸し、サラダと一緒に食べました。2人と一緒だと、食卓が賑やかになりました。また、暑いベランダに上がり、私の洗濯物を取り込み、畳んでくれました。自然にやってくれ、まるで自分の娘のようでした。

毎年思うことは、皆さん、とても優秀なことです。明るく、まじめ、親切、親孝行と、こちらが見習いたいことばかりです。他国の文化、風習、宗教、食べ物など、貴重な交流ができます。来年も引き受けたいと思っていますが、是非、IIAの英会話講座を受講している友だちにも経験してもらい、外国籍の方との交流を深めて欲しいです。

参加者の声

- ◆楽しかったことは、一緒に食事を作り、食べたことです。
- ◆近くの神社で夏祭りがだったので、3人で一緒に行きました。
- ◆高齢の日本人の方の生活を知ることができました。
- ◆ホームビジットに参加すると、新しい体験を得ることができます。特に、日本人の日常生活や習慣などを知ることができますので、チャンスと時間があれば、参加した方がよいと思います。



犬山日本語教室で勉強を頑張っている人を紹介します

マナベ バートリスさん (日系2世)、国籍：ペルー、2022年7月来日

ふたり 子ども (10歳と7歳) に、日本語と日本文化を学んで欲しいので、2年前に来日しました。自分も犬山日本語教室の「にじクラス」で、対話を通して日本語を勉強しています。ボランティアの皆さんの経験や新しい情報が聞けるのも楽しいです。子ども



には、日本語を話して欲しいですが、母国語を忘れて欲しくないで、家の中ではスペイン語で話しています。子どもと一緒に学校の宿題ができるように、自分も日本語を勉強しています。漢字も、子どもと一緒に勉強しています。たこやき、寿司、日本のキーホルダーが好きです。



<担当ボランティア 岡 淳子さんからのコメント>

彼女は皆出席です。以前、日本に住んだことがあるそうで、日本語を上手に話します。予習のため、次回のトピックを知らせると、ペルー各地のお祭りの写真や、ペルーの有名な料理を手書きした絵を冊子にして持ってきて、私達に伝えてくれました。

私たちが「にじクラス」は、このように、コミュニケーションをとりながら、お互いのことを知り合い、仲良くなっていながら、日本語を学ぶクラスです。



いぬやまにほんごきょうしつじょうほう
 ※犬山日本語教室情報⇒



仕事は信頼関係。気持ちよく働ける職場づくりは、地道な歩み寄りが大切。

■内田信也氏（株式会社タイシン重機サービス 代表取締役）にお話を聞きました



左：ソットさん 右：内田社長

時代の流れにより、中小企業の悩みとして、人材の確保が難しくなってきた。外国人材の雇用については、技能実習制度の事例発表を聞いて興味を持ったことがきっかけだった。社長自らが生活指導員の資格を取り、2019年よりフィリピンから技能実習生を受け入れることを決めた。安全性第一で事故は絶対あってはならない仕事である。だが、仕事内容を覚えてもらうために、

まず、「言葉の壁」が立ち上がった。工場長が技能実習生を指導するが、厳しく当たってしまうことが多々あり、彼らは逃げ道がなくなることがあった。会社として、就業規則を見直し、彼らが働きやすい環境づくりに努めた。

また、作業は言葉だけで伝えるのではなく、動画で作業を学ぶことができるように、補助金を申請し、項目ごとに学ぶことができる作業マニュアルも整えた。

現場では、最初スマホの持ち込みを禁止していたが、仕事上のコミュニケーションのためには、スマホの翻訳検索が欠かせないことを知り、作業現場へスマホの持ち込みを許可するよう切り替えた。就業時間中に、仕事以外にスマホを使う懸念もあったが、そこは、本人たちを信じるしかない。逆に、「言葉を覚えてほしい」と言うこともできると考え方を切り替えた。仕事は信頼関係が大切である。

今では、技能実習生だった4人の内、2人は特定技能1号を取得した。

言葉や文化が異なる人たちとともに仕事をしていくことは、様々な大変なこともあるが、彼らは実に朗らかな人柄で、人にも好かれる。職場が明るくなった。

今後、新しい人が来た時には、自分が苦労した分、先輩として愛情を持って接してくれるのではないかと期待している。

ソットさん（左から2番目）と
職場の仲間みなさん ⇒



アルサンデル ソットさん（フィリピン）のコメント

もしもミスをして事故があったら、日本では会社の責任になる。自分だけで判断しないことがとても大切。会社に迷惑を掛けないように、必ず、「確認・相談」をしてから行うようにしている。

ソットさんの取材の中で、「フィリピンにいる2人の兄から、日本で働くならば、「我慢」を持って行ってねと言われ、わたしは「長い我慢」を持って日本に来た。」という話を聞きました。それは、日本のモノづくりの現場では、品質管理をしっかりすること、「安全性が第一」でミスなく仕事をやりきることがとても大切であるからこそ、「言葉の壁」による摩擦も起こりうるのだ、と感じました。「言葉の壁」や「文化の壁」がある中で、会社がお客様の信頼を得る仕事をやりきるためには、職場で働く者同士が、互いにたゆまぬ歩み寄りの努力を積み重ねることが必要であることを、今回の取材を通して教えていただきました。（取材：辻 愛子）

語学講座講師へのインタビュー

いぬやまこくさいこうりゅうきょうかい
犬山国際交流協会では、ネイティブスピーカーの講師による語学講座を行っています。
ごんかい
今回は、スペイン語講師として活躍されている桑垣ミッシェルさんにお話を聞きました。

しゅっしん
出身：コロンビア 日本にほんの好きすなところ：日本人にほんじんは親切しんせつ。富士山ふじさんとお蕎麦そばが好き。
スペイン語スペインごの魅力：母音ぼいんの発音はつおんが日本語にほんごと同じおななので、英語えいごより発音はつおんがしやすいです。また、スペイン語スペインごは、世界せかいの21カ国こくで話はなされているので、スペイン語スペインごを勉強べんきょうしていれば、スペイン語圏スペインごけんへ旅行りょこうに行った時に、現地げんちの人ひとと話はなすることができます。
スペイン語講座スペインごこうざについて：「はじめてのスペイン語スペインご」では、旅行りょこうで使える会話中心かいわちゅうしんで教えています。講座こうざで生のスペイン語なまを聞いていけば、南米なんべい等へ旅行りょこうに行った際にコミュニケーションコミュニケーションが出来て楽しいです。南米へ旅行りょこうに行きたい人ひとがいたら、自分の講座こうざの受講じゅこうを勧めていす。



メッセージ：アジアの反対側はんたいがわの遠い国とおい くにから来ているので、文化ぶんかなどが違う。でも、心こころを広げて、人間にんげんとしてみんなが“アミーゴ”になるためには、コミュニケーションコミュニケーションが大切。日本人にほんじんは、外国人がいこくじんと“アミーゴ”になりましょう。日本にほんに住んでいる外国人がいこくじんの皆さんも、住めば都みやこになるように、進んで日本人にほんじんと“アミーゴ”になりましょう。

自分のルーツじぶん（文化ぶんか、言語げんご、料理りょうりなど）を大切にし、母国ぼこくの魅力みりょくを周りの人に伝えたいというミッシェルさんが印象的いんしょうてきでした。（取材しゅざい：荻野清彦）

※「アミーゴ」はスペイン語で「友だち」の意味。
ごかくこうざじょうほう
※語学講座情報 ⇒

※語学講座で学べるその他の言語：英会話、韓国語、中国語、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語



日本語で、いろいろな国の人たちと対等に話し合う場があります



まいつき かい じかん
毎月1回、1時間、トピックを決めてお話をしています。お互いの文化や習慣しゅうかんを知り合いながら、自分の考えかんがを話し合います。異なる国の人の話は新しい発見はっけんがあります。

◆ お申込み：



<https://forms.gle/cLmM8LAJmsozaQVB8>

「多文化おしゃべりクラブ～オンライン～」
※平日と土曜日と交互かいごに開催かいさいしています。

じかい について がつ にち きんようび
次回の日程：10月25日（金曜日） 19：30～20：30

4～8月まで、運営サポーターを担任たんとうしてくれたアインさんに聞きました

た。◆運営サポーターに参加してよかったことは何ですか？

みなさんの友達ともだちになれたことです。皆さんのおかげで日本での生活せいかつは面白くて忘れられない思い出になりました。

◆まだ「多文化おしゃべりクラブ」に参加したことない人へメッセージをください。

多文化おしゃべりクラブで皆さんはお互いを尊重して他の人の話をちゃんと聞くので、参加する度いつも遠慮なく、気軽に日本語を話せます。ですから、日本人だと外国人の友達が出来て、外国人だと日本語の練習のいいチャンスだと思います。ぜひ、多文化おしゃべりクラブに参加してみてください。

ヴォトウエイ
ットアインさん
(ベトナム)



文化や習慣のいろいろ ～ベトナム～

日本人がベトナムに行った時に、お店の商品棚の一番下で、店員さんが昼寝をしていて、びっくりしたという話を聞きました。ベトナムでは、昼寝をする習慣があるそうです。昼寝をすることで、午後からの集中力や効率が上がることが期待されます。

皆さんの国では、どうですか？



楽しい日本語 オノマトペ！

「オノマトペ」って知っていますか？オノマトペとは、状態や動きなどを音で表現した言葉のことです。日本語のオノマトペを覚えると、日本語での会話がより楽しくできます。使ってみてね！

ドキドキ



期待、不安、緊張、恐怖、激しい運動の直後などで心臓が激しく鼓動している様子。

ルンルン



嬉しいことや、楽しいことがあって心が踊る様子。

ヒンヤリ



気持ち良い程度に、冷たさを感じる様子。

クスクス



声を忍ばせるようにして笑う様子。また、その声。

クールジャパン

ぼんおど 盆踊り

みなさんの国にも、伝統的な踊りや、結婚式やパーティーなど人が集まった時に踊るダンスなどがあると思います。日本では、夏に、神社や広場などに人が集まって、「盆踊り」を楽しみます。広場の中央にやぐらを立て、やぐらの周囲を回りながら音楽に合わせて踊ります。浴衣を着て参加する人もたくさんいます。誰でも気軽に参加でき、さらに老若男女、様々な出会いの場でもあります。多くの人が一緒になって楽しく踊ることにより、「輪」、「一体感」が感じられます。



編集後記

「酷暑」という言葉がピッタリの異常な暑さの中、汗を流しながらこの原稿を書いています。いぬやま多言語ニュースは、7つの言語で発行していますので、下記の翻訳ボランティアメンバーの皆さんのご協力、サポートに日々感謝です。発行に先立ち、メンバーの皆さん

に集まっていただき、翻訳会議を毎回開催しています。前回の会議では、「多文化の人たちが地域で一緒に生活する上で大切なこと」というテーマでディスカッションしましたが、その際に出された意見の一部を紹介します。

・“国”ではなく、あくまで“個人”なので、「外国人」という言葉には抵抗がある。「外国人」としてグループ化することは、偏見にも繋がる。

・自分は、ブラジルにいた時も“外国人”、日本に来ても“外国人”。

「外国人」という名前の人は存在しません。一人ひとりが、個性を持ったオンリーワンの「人」である、ということを改めて再認識させられた意見でした。

いぬやま多言語 News 発行・編集 犬山国際交流協会

〒484-0086 愛知県犬山市松本町 4-21 犬山市民交流センター「フロイデ」内

TEL: (0568) 48-1355 FAX: (0568) 48-1356 HP: <http://iiea.info> E-mail: iia@grace.ocn.ne.jp

翻訳ボランティアメンバー

英語：日下部和朗、安村めぐみ、内村英智、レスリー・ウォルター

スペイン語：田原カルロス、ルイス・ブルネス・リカルド・アルトゥロ、佐伯リリアナ

ポルトガル語：屋良マルコス、赤木和範、赤木美津江、吉田ジゼレ、石川千明

中国語：針田見佐子、田露、孫姣、楊麗春、小澤 勉

ベトナム語：ファム・ティ・ヌー・ハウ、チャン・ヴァン・ハー

タガログ語：樋口マリタ、カワサキマリア

※データ版⇒

